

専門分科会(11月25日開催)における意見に対する市の考え方

項目	No.	委員意見	市の考え方
地域福祉の取組	1	事務局説明の中で、計画の冒頭部分に相談支援機関の一覧を載せる必要があるのかも検討する必要があるということだったが、是非載せた方が良いのではないかと。	専門分科会及び庁内の意見を踏まえ、主な地域福祉活動と主な相談機関について表形式で記載しました。当該ページには問合せ先を記載しておりませんが、巻末資料として一覧を掲載するとともに、相談支援機関等でも日常的に御活用いただけるような問合せ先一覧表を作成する予定で検討を進めております。
圏域	2	「近隣」の圏域に、「介護サービス事業所」「障がいのサービス事業所」「社会福祉施設等」を追加できるか、検討してほしい。	圏域の図については、圏域ごとにどのような機関が設置されているかを例示的に示したものであるため、社会福祉施設等をこの図に記載することは難しいと考えています。御意見については、第3章に記載予定の総合的支援のネットワーク図において反映させる予定としております。
全体	3	協議会タイプの仕組みは、いわゆる包括的なケアシステムを作っていくうえではすごく重要だと思う。協議会を立ち上げていくことで、地域包括ケアシステムを実践していくという理念が第4次計画にもっと盛り込まれたらよいと思う。	協議会を立ち上げることは、包括的な相談支援体制を構築するための手法のひとつであると認識しておりますが、本市においては、既存の相談支援機関の連携を強化することで体制整備を進める予定としております。
包括的な支援	4	分野ごとの相談支援体制に住まいという横串を刺すことによって、個人支援及び地域支援が推進するので、第4次計画には居住支援協議会の必要性を認識するというような文言を盛り込むよう検討してほしい。	居住支援協議会など、各協議会について個別に言及する予定はありませんが、高齢・障がい・生活困窮・住宅等、各分野の連携を強化することは、包括的な相談支援体制の構築に向けて大変重要なことであると認識しております。
	5	現状、社協及びCSWの認知度がそれほど高くない。そのような中で、社協及びCSWをどれだけ身近に感じて相談してもらえるのか、参考資料のイメージ図のとおり働きを果たせるのかと重責を感じている。	包括的な相談支援体制の整備については、様々な仕掛けを段階的に展開しながら取り組むものと考えております。第一段階としては、今あるものを最大限活用しながら取組を進め、仕掛けのひとつとして社協及びCSWの認知度向上に向けた取組があると考えております。
	6	参考資料のイメージ図中、【地域】の「住民が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる環境」について、『試みる』を『可能にする』に変えてみてはどうか。	「課題を把握して解決を試みる環境」については、国の表現を用いています。「可能にする」とした場合に、地域で全て解決しなければならないと受け取られる懸念があり、地域だけでは解決することが難しい専門的な課題もあるため、まずは地域で課題解決を試みて、しかるべきところの支援が必要であれば、そこにつなぐというイメージで書いています。
	7	参考資料のイメージ図中、「地域で支えあえるまち」というフレーズはすごく一般的だと思う。『地域で支えあえるまち・吹田』はどうか。	御意見については、基本理念等を考える際の参考とさせていただきます。

項目	No.	委員意見	市の考え方
包括的な支援	8	参考資料のイメージ図に「地域住民が自ら暮らす地域の課題を「我が事」として捉えるような地域づくりの取組」を加えてほしい。	参考資料のイメージ図については、包括的な支援体制のイメージを委員並びに庁内で共有するために作成したものである。計画に記載するものとしては、イメージ図をさらに具体化した「総合的支援のネットワーク図」を作成したので、御確認ください。
	9	参考資料の1ページ目には、例えば「関係機関」「相談支援機関」「横のつながり」という文言はあるが、ここに「社会福祉施設」の文言も加えていただきたい。	御意見をもとに、重点施策を説明しているページにおいて「福祉施設」の文言を追加したので、御確認ください。
	10	施設の活動は、どうしても制度の仕組みの影響を受ける。その面から考えると、参考資料のイメージ図で「福祉関係事業者」と「行政」が同じ丸の中に入っているのは、少し違和感がある。行政は、全てを包括するところで関わっていく立場ではないか。	御意見を参考に、参考資料のイメージ図をさらに具体化した「総合的支援のネットワーク図」を作成したので、御確認ください。
	11	CSWに期待があがっているが、現状、個別支援に時間がかかっている、地域づくりの方がなかなかできていないことが問題である。CSWの認知度を上げることは大事だが、それだけではなく、個別支援や地域支援など、CSWの受け皿・つなぎ先などもセットで体制づくりをしないと大変ではないか。	御意見のとおり、CSWが個別支援・地域支援をより活発に行える体制をつくる必要があると認識しており、それについては、包括的な相談支援体制の整備に関することとあわせて検討を進めます。
災害	12	第4次計画に「吹田市避難所運営マニュアル作成指針」という言葉を加えてほしい。	御意見については、コラムで対応できないか検討を進めます。
コラム	13	市民と市民がつながるような、ネットワークを感じられるようなコラムを載せればよいのではないかと。フードドライブに関しては、集まった物資を届られた側の声も載せることができれば、自分も福祉活動の一員だと感じ取れると思う。	御意見を参考に、「自分が地域福祉活動の一員と感じられる取組」「住民・施設等が自ら行っている取組」をコラムに掲載できるように、検討を進めます。
	14	「お出かけ外出配食」や「大学生が福祉委員がウェブで開催するサロンの支援を行ったこと」など、吹田の住民自らが考え出したコロナ禍での活動を取り上げてもらえたらありがたい。	
	15	吹田の施設連絡会独自の取組としてかなり色々行っているの、吹田しあわせネットワークの取組を記載してほしい。	

項目	No.	委員意見	市の考え方
コラム	16	介護保険事業者連絡会では、毎年、吹田市と共催で介護フェアを開催し、介護に関する理解を深めるための取組も行っているため、コラムへの掲載を検討いただきたい。	介護の仕事の魅力や現状については、高齢福祉室で策定を進めている第8期吹田健やか年輪プランのコラムに記載される予定と聞いております。第4次計画においては、個別計画に記載されていないものを中心に掲載したいと考えておりますので、御理解のほど、よろしくお願いいたします。